

1 単元名 Unit 5 Universal Design (New Horizon English Course 2)

2 指導目標

- ・従属接続詞を使い、積極的にコミュニケーションを図ろうとする。
(コミュニケーションへの関心・意欲・態度)
- ・身近な話題について、即興で相手に質問をしたり、質問を受けて自分の考えを伝えたりすることができる。
(外国語表現の能力)
- ・英文を聞いたり読んだりして、ユニバーサルデザインの利点や、誰もが住みやすい社会にしていけるユニバーサルデザインの取組について理解することができる。
(外国語理解の能力)
- ・従属接続詞 if, that, when, because の意味、用法に関する知識を身に付けている。
(言語や文化に関する知識・理解)

3 指導にあたって

(1) 単元観

この単元は、今日、社会に浸透しつつあるユニバーサルデザインを題材にして、困っている相手にアドバイスする対話や、体験したことに対する感想、調べたことの発表などの表現を学ぶことができる内容である。本単元の言語材料は if, that, when, because などの従属接続詞がまとめて扱われており、これらを使うことにより、理由を付けて自分の考えを伝えたり、条件を付けて論じたりすることが可能になる。

(2) 生徒の実態(第2学年*組 男子*人 女子*人 計*人)

平成29年10月4日

実態調査:インタラクティブフォーラム形式 トピック「My pet」

- ・3文以上で自分の考えを相手に伝えることができた*人
- ・2問以上の質問をして会話を発展させることができなかつた*人
- ・尋ねたいことはあるが、英語が浮かばなかつた*人
- ・正確に言おうとして、質問ができなかつた*人
- ・内容が適切なのか自信がなくて質問できなかつた*人
- ・全く尋ねたいことが浮かばなかつた*人

意識調査:

「英語で伸ばしたい力は何ですか」

聞くこと*人 話すこと*人

読むこと*人 書くこと*人

本学級の生徒は、英語を使ったコミュニケーション活動に興味をもって取り組んでおり、男女関係なく協力して行うことができる。意識調査では、話す力を伸ばしたい生徒が多く、実態調査を行った結果、即興で相手に質問することができない、対話が持続できないという課題があることが分かった。これらのことから、話すこと[やり取り]の力を育てていくことが大切であると考えられる。

(3) 指導観

即興で相手に質問したり、従属接続詞 that, because を用いて自分の考えを伝えたりしながら対話を継続・発展させて考えなどを伝え合う力を育てたいと考える。即興性を高めるために、帯活動において、まず、最初の授業で、質問文や単語の弾丸インプットを行い、次の授業でイラストカードを用いて単語を入れ換え質問するインテイク活動(定着)を行う。さらに次の授業で質問文を作るプレタスク活動(表現)を行う。この帯活動の流れは、繰り返し行い、スパイラルな活動で即興性を高めたい。対話を継続・発展させて考えなどを伝え合う力を育てるために、外国の生徒と交流するというタスクを設定する。まず、デモンストレーションの活用で対話の目的を理解し、次にマッピングで、対話の方向性を決定し、見通しを立てる。さらに、具体的なコミュニケーションとして、生徒が話しやすいテーマでやり取りを行う。タスク活動にしたことで、このやり取りへの意欲が高まり、また、やり取りを行ったことでの自信がタスクの達成への意欲につながると考える。最後に、振り返りやピアフィードバックを行うことで次時につなげ、意欲を高める。以上のような過程を繰り返し行うことで、対話を継続・発展させて考えなどを伝え合う力を高めたいと考える。

4 指導と評価の計画(9時間扱い)

第一次 従属接続詞 if (1時間)

第二次 従属接続詞 that (2時間)

時	学習の内容	評価規準	評価計画			
			関	表	理	言
1	<ul style="list-style-type: none"> 質問文の弾丸インプットを行う。 対話を聞いて、thatの使用場面や意味に気を付く。 チャットシートを使って、対話の見通しをもち、対話の発展につながる所にアンダライニングを引く。 マッピングを行い、対話が継続・発展する流れを予想し、対話文を作る。 本文の内容を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> thatの使用場面に気を付き、本文の内容を理解することができる。 			○	
2	<ul style="list-style-type: none"> 単語を入れ換え、質問するインテイク活動を行う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> 学習課題 (タスク活動) 「ALTの体調不良」 </div> <ul style="list-style-type: none"> 対話の見通しをもつ。 マッピングを行い、対話が続くような内容を考える。 ペアになって対話をする。 振り返りやピアフィードバックを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 対話の見通しを立てるためのマッピングを行い、対話ができることをさせる。 		○		

第三次 従属接続詞 when (1時間)

第四次 従属接続詞 because (3時間)

1	<ul style="list-style-type: none"> 質問文を作るプレタスク活動を行う。 対話文を聞いて、becauseの使用場面や意味に気を付く。 チャットシートを使って、対話の見通しをもち、対話の発展につながる所にアンダライニングを引く。 本文の内容を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> becauseの使用場面に気を付き、本文の内容を理解することができる。 			○	
2 本時	<ul style="list-style-type: none"> 質問文の弾丸インプットを行う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> 学習課題 (タスク活動) 「友達に贈るバースデープレゼント」 </div> <ul style="list-style-type: none"> 対話の見通しをもつ。 マッピングを行い、対話が続くような内容を考える。 インタラクティブフォーラム形式で対話をする。 振り返りやピアフィードバックを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 対話の見通しを立てるためのマッピングを行い、対話を継続させることができる。 		○		
3	<ul style="list-style-type: none"> 単語を入れ換え、質問するインテイク活動を行う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> 学習課題 (タスク活動) 「自分の夢」 </div> <ul style="list-style-type: none"> 対話の見通しをもつ。 マッピングを行い、対話が続くような内容を考える。 インタラクティブフォーラム形式で対話をする。 振り返りやピアフィードバックを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 原稿を意図せず、不適切興を問う。原稿を意図せず、不適切興を問う。 		○		

第五次 アクティビティー (2時間)

1	<ul style="list-style-type: none"> プレタスク活動で、質問文を作る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> 学習課題 (タスク活動) 「私の好きなこと」 </div> <ul style="list-style-type: none"> 対話の見通しをもつ。 マッピングを行い、対話が続くような内容を考える。 インタラクティブフォーラム形式で対話をする。 振り返りやピアフィードバックを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 即興で質問をし、対話を継続・発展させることができる。 		○		
2	<ul style="list-style-type: none"> 本時のゴールの姿について確認する。 対話の見通しをもつ。 タンザニアの生徒とSkypeで交流する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> 学習課題 (タスク活動) 「私の好きなこと」「行きたい国」「自分の夢」 </div> <ul style="list-style-type: none"> 振り返りやピアフィードバックを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 見通しをもつて、対話を継続・発展させることができる。 	○	○		

5 本時の活動

(1) 目標

○対話の見通しを立てるためのマッピングを行い，対話を継続・発展させることができる。

(2) 準備・資料

- ・ワークシート，拡大マッピング

(3) 展開

評は評価 ○は個への対応

時間	活動内容	教師の支援と評価
2	1 英語であいさつし，簡単なQ & Aをする。	<ul style="list-style-type: none"> ・元気よくあいさつをし，既習事項を使った会話を行い，英語を話す雰囲気を作る。 ・友達に贈るバースデープレゼントを考える時の対話は，どんな内容を話すか考えさせる。 ・JTEとALTでデモンストレーションを行いイメージがもてるようにする。 ・本時の学習内容と目標を伝えることにより，見通しをもって学習に取り組ませる。
3	2 対話の見通しをもつ。	
1	3 本時の学習内容と目標を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content;"> 友達に贈るバースデープレゼントについてグループで意見を出し合い，提案しよう！ </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・ジェスチャーを入れながらリピートができるようにする。 ・マッピングの例を拡大し提示する。 ・マッピングを行う前に，クラスのどの友達へのプレゼントなのか，メモを渡しておく。 ・バースデープレゼントはその人を想って選ぶことを意識させる。 ・早く終わった生徒は，JTEやALTと練習をしたり，近くの友達と対話の練習を行う。 ○すぐに英語で書くことが難しい生徒は，最初は単語や日本語で考えてもよいことを助言する。 評 自分の考えを提案し，対話を継続・発展させることができる。 ・グループでプレゼントを相談する際には，必ず英語で提案するように助言する。 ・なぜそのプレゼントが良いのか理由も付けて言えるようにする。 ・英語で発表するように指示する。 ・1人1回，理由もつけて発表する。 ・友達が書いてくれたコメントを見て次時の学習につなげられるように促す。
5	4 質問文の弾丸インプットを行う。	
10	5 マッピングを行い，友達に贈るバースデープレゼントについて考えを広げる。	
15	6 インタラクティブフォーラム形式で対話し，グループでまとめた意見を画用紙に書く。 (3人分の友達のプレゼントを書く)	<ul style="list-style-type: none"> ・なぜそのプレゼントが良いのか理由も付けて言えるようにする。 ・英語で発表するように指示する。 ・1人1回，理由もつけて発表する。 ・友達が書いてくれたコメントを見て次時の学習につなげられるように促す。
7	7 グループごとに発表する。	
6	8 振り返りとピアフィードバックを行う。 (生徒自身の振り返りと友達のよかった所を書く)	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の取組を称賛し，意欲を高める。
1	9 英語であいさつをする。	